

松竹特撰落語会報告 <100周年記念松竹特選落語会>

前回の納涼寄席に続いて2回目の「桂福團治と噺家4名が集結する落語寄席」に社友会8名の有志が参集しました。

・日時：11月25日（土）開演13：30～

・会場：大阪松竹座

・参加者：社友会メンバー[^]8名

水野支部長が顧問を務める“なにわ会”と共催の興行であり、今回の開催場所は道頓堀川沿いにある「大阪松竹座」。大阪松竹座開場100周年記念行事の一貫で催されました。道頓堀界限は人、人、人で優勝パレードの再来を思わせる程。会場は2階座席も完売とのことで1000人を超える入場者で満席！我々一同は「なにわ会」のご配慮により1階最前列、相撲で言う“砂かぶり”に陣取りました。噺家の語り口を生で聴けばその間合いや息遣い迄伝わりイメージが湧いてきます。勉強になるナ～。公演後桂福團治師匠と「なにわ会」との談笑会食会が予定されていましたが、この人、人の賑わいではどこも会場場所が確保できず、8名だけで、心齋橋駅近隣の居酒屋で“乾杯！”

（勿論副支部長横山さんの予約にて急遽座席確保 6時30分頃解散。）

レポート：国沢